

# 新体制での課題とその展望

～ケアスタッフの目線から～

---

ゆきよしクリニック  
通所リハビリテーション  
玉木 純子 猿山 道子

# 通所リハのこれまで

---

## 自立支援介護

- ⇒ 目標の明確化
- ⇒ 自律の認識を高める
- ⇒ 地域資源の情報提供

...などに取り組んできた。

AM その人の「やりたい」を応援する応用的なプログラム

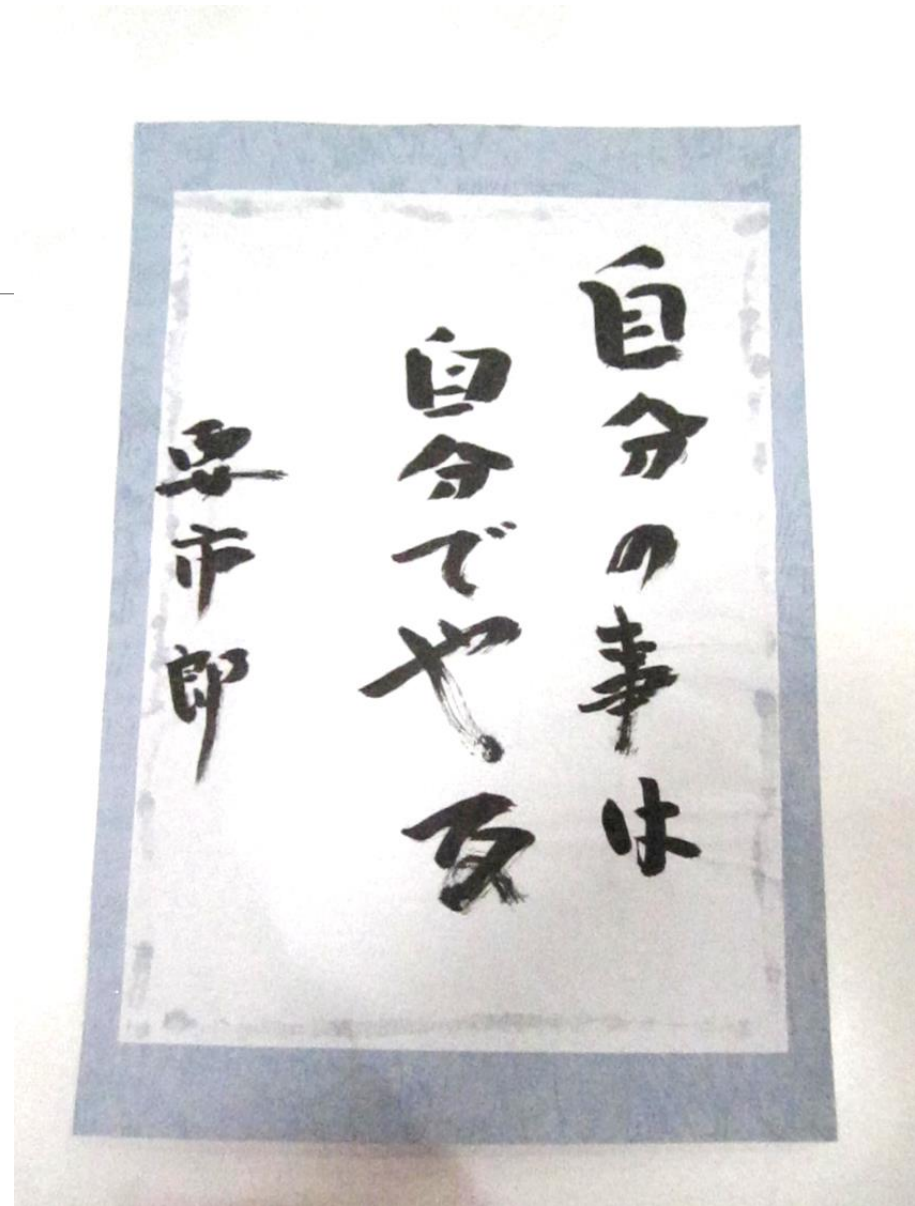
PM 状態に合わせてステップアップしていくプログラム

# 意識改革

---

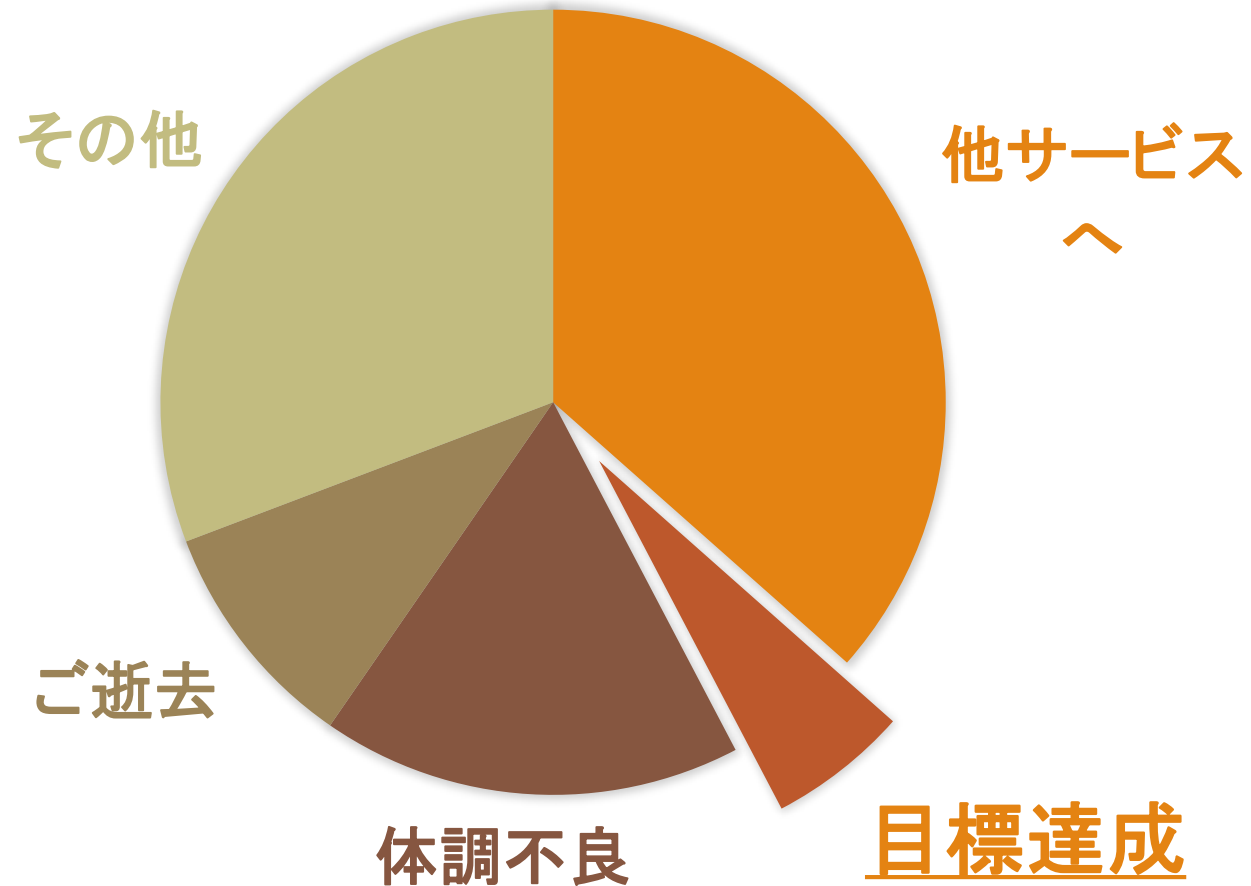
してもらおう

⇒ していく!!!



# 平成30年度の卒業生

---



目標達成による  
卒業生が少ない

# 事例 〈A様の場合〉

80歳代、女性、要支援2 利用期間：H30. 1～H31. 3

身体的に問題はなく目標を達成し卒業

⇒他サービス(デイサービス)へ移行した。

△通所リハはずっと通えるという認識

△慣れた場所から辞めたくない気持ち

課題①不安が残ったままの卒業



# 事例 〈B様の場合〉

---

60歳代、男性、要支援2 利用期間：H29. 5～

身体機能面では卒業レベル。

△今まで通っていた健康保険施設への抵抗感をもっている。

△ふれあいプラザには通っているが、  
通所リハビリも続けたい。

課題②地域に戻る事に不安があり利用継続

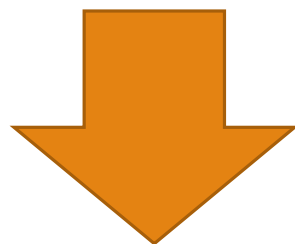


# 課題

---

①不安が残ったままの卒業

②地域に戻る事に不安があり利用継続



自信が持てなかった

# 対策 自信を持っていただくために・・・

---

- ・利用者とコミュニケーションを密にし、こまめに目標と現在状況を確認する(ステップアップシート)
- ・スタッフ間での情報共有
- ・動画等、目に見える形で残し利用者に還元する(評価・担当者会議等)



# 私たちの目指す通所リハビリ

---

スタッフ全員で同じ目的・目標を  
持ってきめ細やかな支援を  
していきたい！



# 心身共に満足 → 卒業へ！

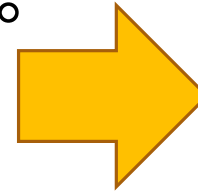


# 今後の通所リハビリの課題

---

卒業

- ① 事業者としては卒業者が  
出ることで**収入減**となる。
- ② アフターケアが必要  
通所リハビリの再開も



良いイメージ作りが重要！  
地域において頼られる  
事業所へ！！